

【生薬名】 蒺藜子 *TRIBULI FRUCTUS*,

【起源植物】 ハマビシ *Tribulus terrestris*



【科名】 ハマビシ科 *Zygophyllaceae*

【別名】 白蒺藜、刺蒺藜、波万比之

【薬用部分】 果実

【主成分】 精油、サポニン、アルカロイド、脂肪油

【薬性】 気味は辛苦微温、帰経は肝に属す

【効能】 ●疏肝熄風・行瘀祛滯・解鬱・明目・止痒

●風邪・頭痛・眼疾で目やにが出る時、1回5～10gを水300mlで半量に煎じ服用、

●血行を良くし、血の滞りをなおし、皮膚病、眼疾などに用いる

●能く肝を平にし、風を祛り、鬱滯を開き、血を散じる効がある。それゆえ、頭風、頭痛、肝の鬱滯気結、乳汁不通、月経不通、難産、大便風秘などに常用し、また赤目、多涙、身体風痒などにも用いる

●利尿、消炎、浄血薬として、頭痛、眼疾、乳汁不通、月経不通、癥瘕積聚などに応用する

【出典】 ●蒺藜子。一名旁通。一名屈人。一名止行。一名豺羽。一名升推。味苦温。生平澤。治惡血。破癥結積聚。喉痺乳難。久服長肌肉。明目輕身。(神農本草經上品)

●蒺藜 味苦、瘡癩癢を療し、白癩頭瘡、翳を除き目を朗す。(薬性歌)

●奔豚腎氣、肺氣の胸膈満を治し、分娩を催し、胎を墮し、精を益し、水臟が冷えて小便多き者を療じ、尿の遺瀝、泄精、尿血腫痛を止める(日華子本草)

【備考】 ●忍者の使う鉄蒺藜は蒺藜子の形から作られたという

●

【処方例】 ●当帰飲子、白蒺藜散●